

八王子市生涯学習審議会会議録（要点筆記）

会 議 名	平成 29 年 6 月 八王子市生涯学習審議会	
日 時	平成 29 年 6 月 30 日（金） 午後 7 時 00 分～午後 9 時 00 分	
場 所	八王子市生涯学習センター 第 2 学習室	
出席者氏名	委 員	三浦眞一 岡本夢乃 炭谷晃男 浅井揚三 石川智子 碓井恵夫 小倉艶子 加藤方浩 丹間康仁 永村隆 守屋和広
	事務局	瀬尾生涯学習スポーツ部長 石黒図書館部長 平塚生涯学習政策課長 太田中央図書館長 新堀生涯学習センター図書館長 安達南大沢図書館長 福田川口図書館長 新井学習支援課長 高木生涯学習政策課主査 塩澤生涯学習政策課主査 杉山生涯学習政策課主査 白鳥生涯学習政策課主任 川久保生涯学習政策課主事 平野生涯学習政策課主事
欠席者氏名	村上委員 小林委員	
議 事 案 件	《議題》 ・平成 28 年度八王子市生涯学習関連事業評価について	
	《報告事項》 (1) 感想文・感想画コンクール上位入賞者の台湾派遣報告について (2) 地区図書室の市民図書館移行準備担当の設置について (3) 「としょかんこどもまつり」実施について (4) 市制 100 周年事業川口図書館「100 がつく本」100 冊展示について (5) 包括連携協定の締結に基づく中央大学と図書館との共同研究について (6) 市制 100 周年記念事業 姉妹都市図書館交流展示について (7) 第 6 回読書感想文・第 13 回読書感想画コンクールの開催について (8) 都市社連協関連について (9) 教育委員会定例会における関連事項について	
配付資料名	生涯学習スポーツ部・図書館部 管理職名簿 平成 28 年度八王子市生涯学習関連事業評価について 「読書感想画」・「読書感想文」コンクール上位入賞者の台湾派遣報告について 「としょかんこどもまつり」実施について 川口図書館で「100 がつく本」を展示 ～関連書籍 100 点を展示～ 中央大学と図書館との共同研究について 市制 100 周年記念事業 姉妹都市図書館交流展示の開催について 「読書感想画」・「読書感想文」コンクール 作品募集チラシ	
	1. 開 会	人事異動について
	2. 定足数の確認	出席者 11 名、会議の成立を確認
	3. 会議録署名委員	岡本委員を指名
	4. 議 事	

<p>事務局</p>	<p><b>議事案件 1</b>  <b>平成 28 年度八王子市生涯学習関連事業評価について</b></p> <p>生涯学習プランの計画的な推進を目的として、前年度の事業を検証・評価・見直しを行うものである。今回は、昨年 2 月に各所管における平成 28 年度実施予定事業の調査を行い、それに基づく評価である。各所管の評価を集約したものを、生涯学習推進本部幹事会（市の管理職により構成）に諮り、本日、生涯学習審議会から意見をいただきたい。</p> <p>《昨年度との主な変更点》</p> <p>①管課の事業評価の基準の変更→本市における他評価と同様の基準とした。  ②対象区分を整理→昨年度は本項目における「その他」の回答が多くを占めていたため、分類項目を整理した。</p> <p>《各施策における主な特徴》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本施策 1 子どもの頃から始める学びの基礎づくりについて  105 事業が該当。本項目の事業のうち、今後の方向性が「廃止・終了」に該当するものが 8 件で全体の 8%であるが、その理由は主に指定管理の終了によるもの及び保健福祉センターの事業において、対象年齢と名称変更によるもの。</li> <li>・基本施策 2 誰もがいつでもどこでも学べるしくみづくりについて  238 事業が該当。今後の方向性が「廃止・終了」は 15 件で全体の 6%である。理由は公園の指定管理の終了によるもの。</li> <li>・基本施策 3 学習成果を活かし市民がつながる生涯学習の推進について  99 事業が該当。事業の実施形態が「補助」によるものの割合が 20 件 20%と、全体の割合の多くを占めている。</li> <li>・基本施策 4 生涯学習環境の充実について  47 事業が該当。特徴としては、市単独での実施割合が高いことと、対象者がどなたでも参加可能となっていることが挙げられる。</li> </ul>
<p>会長 委員</p>	<p>事務局で仮作成した生涯学習関連事業評価シートをご覧いただき、基本施策 1 から順番に意見等があれば賜りたい。</p> <p>事業番号 7 「子ども映画会」および事業番号 116 「市民映画館」が今後、廃止予定であり、悲しく感じる。理由が「様々なテレビ放送や映像メディア等が普及し、家庭で容易にアニメを視聴できるようになってきたため、年々参加者が減少していると考えられる。また、映画を放映する 16 ミリフィルム映写機は、修繕部品の生産が終了しており、また、新規映写機の新規生産も行っていない。</p>

<p>学習支援課長</p>	<p>よって、現在残っている映写機が故障した時点でフィルムの放映はできなくなるため、29年度以降は廃止とする。」となっているが、これらの事業の趣旨が反映された別の事業として継続が望ましい。</p> <p>また、事業番号 91「放課後子ども教室」であるが、対象は子どもで評価指標は参加人数となっている。単なる事業の拡大だけでなく、地域との協働など質的な観点での評価も重要ではないか。</p> <p>子ども映画会および市民映画館の事業廃止についてだが、使用するソフト・ハード共に専用の機材を使用するが、生産終了となっている為、例年同じような内容となってしまう。また、一般上映用の映像作品を購入すると通常のレンタル品のように数百円単位では収まらず、数十万円～百万円単位の費用がかかってしまう。同様の事業の継続は難しいが、その代替として各種講座にマンパワーを割いていきたい。検討はさせていただく。</p>
<p>委員</p>	<p>これは、ただ単に映像作品を見るという意味に留まらず、家族や仲間と一緒に見ることに意味があるので是非検討してもらいたい。</p>
<p>生涯学習政策課長</p>	<p>放課後子ども教室について説明する。頂いた意見はもつともである。</p> <p>放課後子ども教室は第一に子どもの放課後の居場所の拡大を目指しており、現在 61 校で実施している。学童保育のニーズも増えていく中で、待機児童の問題もあり、その受け皿として放課後子ども教室の拡大が求められている。参加人数としては、前年比 1.3 倍程度増加している。</p> <p>ただ、今後は質の面についても考慮すべきと考えている。評価シートには反映されていないが、実施プログラムについても、地域の方の協力を得て充実を図っている。</p>
<p>委員</p>	<p>放課後子ども教室の各推進委員会が一堂に会して意見交換をするような場があればよいと思う。</p>
<p>生涯学習政策課長</p>	<p>そういった意見交換の場を今年度から設けており、8月に実施予定である。</p>
<p>委員 川口図書館長</p>	<p>ブックスタートについてだが、4つある図書館のうち川口図書館だけ実施していないようだが、なぜか。</p> <p>ブックスタート事業は、市内3ヶ所（大横・東浅川・南大沢）にある保健福祉センターで行われる3才児検診の時に出張して実施している事業である。3ヶ所の保健福祉センターに各図書館から職員が出向いているが、川口図書館については、その規模や立地条件などを考慮して他の3ヶ所の図書館で人員を賅っているため、川口図書館のみブックスタート事業の記載がない。</p>

委員	3つの保健福祉センターの所在地と4つの図書館の所在地がマッチしているのか気になる点である。地域ごとの事業実施状況の程度の差も気になる。
委員	評価指標項目について人数で評価されている事業と参加者の満足度で評価する事業が混在しているようだが、どういう基準で選んでいるのか。
生涯学習政策課長	事業実施所管の判断によるものであり、当課から指示はしていない。
委員	評価指標項目は参加人数という記載であるのに対して、評価理由に参加人数の記載をしているなど、評価指標項目と評価理由に統一性がない事業についてはどう読み取ればよいのか。
事務局	個別に所管課に確認する。
委員	過去の本審議会場で何度か話は出ているが、事業開始当初は事業の拡大など量的な評価になりやすいが、事業拡大に伴って質的な評価も求められることは往々にしてあることである。個別のケースにおける指針が整理できていない段階だと言える。実際には難しいと思うが、今後の評価において量から質へのシフトができれば良いのではないのか。
会長	膨大な数の事業があるから評価指標項目について一概に言えるものではない、とも言える。次に、基本施策2「誰もがいつでもどこでも学べるしくみづくり」について意見を賜りたい。
委員	施策の展開④生涯スポーツ・レクリエーションの推進についてだが、基本施策2 全体で238件中26件というと少なく感じる。
事務局	分類が細かく、スポーツ・レクリエーション関連事業が全てこの範囲にあるわけではなく、実際はもっと多い。
委員	読書のまち八王子の推進のICT化については具体的に何が該当するのか。
生涯学習センター図書館長	この事業の中に具体的に記載されているわけではなく、現在進行形の事業である図書館システムの更新が該当する。来年度以降を検討している。
会長	他になければ、次の基本施策3「学習成果を活かし市民がつながる生涯学習の推進」に進めさせていただく。御意見を賜りたい。
委員	施策の展開③市民との協働による地域の活性化についてだが、主な取組として挙げられている都市景観セミナーについて、全体の評価シートでは「市民と行政の協働により、八王子景観100選候補地写真を利用した八王子のプロモーション動画をワークショップ形式で作成しました。参加者からのアンケート結果も好

	<p>評で、楽しみながら八王子の景観への理解が深まりました。」と記載されているが、所管課評価シートでは、目的の記入欄には「市民と行政の協働による」記載がある一方、協働事業の欄が「なし」となっていることの矛盾がある。どう市民との協働がされたのか分からず、協働による地域の活性化に繋がらないと感じる。</p> <p>むしろ、フラワーフェスティバル由木では「由木地区の住民協議会及び町会・自治会が協働」という風に協働による地域の活性化が理解できるので、主な取組として挙げるのであれば、こちらの方が理解しやすい。</p>
事務局	ご意見を参考にさせていただき、今後のまとめに反映したい。
会長	それでは次の基本施策4「生涯学習環境の充実について」に進ませていただく。意見を賜りたい。
委員	施策の展開③施設の有効活用と開放について過去にも話題になっているが、地区図書室について環境が整ったら整備するような内容で今後も継続する旨の記載が過去にはあったと記憶しているが、なくなっている。きちんと残して、記載をするべきである。
中央図書館長	地区図書室の分室化については、平成29年1月17日の審議会において、図書館のネットワークの中に組み込み、整備していくと報告した。実態に合う記載をするように考慮する。
会長	他に意見が無ければ、まとめに入らせていただく。自身の立場上、これらの評価シートのような各市の資料を見ることが多いが、八王子市は三多摩の各市と比較して、これだけ多くの事業を行っている市は他に無く、とても充実したものであると言える。総合的な意見があれば賜りたい。
委員	<p>総合的な所管評価の部分であるが、昨年と比較してAが56%から27%に激減しているのはなぜか、総合評価で言及した方が良い。</p> <p>評価基準を参加者数にしても満足度にしても数値で測らざるを得ないという事情はあるであろうが。</p>
生涯学習政策課長	先ほども申しあげたが、市の他の評価基準に合わせる形で評価基準を厳しくなるように変更したことが、総合的な評価が低下したことに繋がっている。分かりやすい形で明記する。
委員	事業番号362「生涯学習コーディネーター養成講座」において所管課事業評価がBになっているが、評価理由としては、全体的に満足度の高い講座となった。と記載されている。Aの評価になるには、随分ハードルが高いのではないか。

生涯学習政策課長	<p>当課で行っている事業である。所見としては講座に対する満足度は非常に高いのだが、生涯学習コーディネーターを養成してどう活用するかという本来の観点から見るとAの評価基準（目標を超え、事業の内容が充実した。）に達していないと言える。評価の判断基準に補足説明を入れることで誤解は防げると考えている。</p>
委員	<p>評価基準が参加人数であれば客観的だが、評価基準が参加者の満足度であると所管ごとのアンケートの様式が異なれば、統一性に欠け、比較がしづらい。アンケートなどは決まった様式があるのか。</p>
生涯学習政策課長	<p>完全には統一されていないが、市民満足度調査を行う際の指針はある。各所管が施策の中で講座を行う位置づけというのは多岐にわたる。施策の目標がある中で講座を行うのであれば、所管課としては講座だけの評価だけでなく、総合的な観点からの評価になるだろうし、講座をやること自体が仕事のような所管では単調な評価になりやすい。そのような事情もあることから統一的に扱うことは難しいといえるが、要検討課題である。</p>
委員	<p>会長も発言されているように、これだけ膨大な数の事業について評価をまとめることは一筋縄ではいかない。数が全てとは言わないが、総合評価の中で、これだけのことを八王子市は扱っているということの一つの指標として記載しても良いのではないか。</p>
委員	<p>総合的な部分で、事業の実施形態として市単独での実施が50%となっているが、経年の変化としてはどうなのか。</p>
生涯学習政策課長	<p>昨年では、市単独での実施が48%、委託が10%、共催が14%、実行委員会が4%、指定管理者が16%、補助が7%、その他が1%となっている。</p>
委員	<p>5年10年など、もう少し長いスパンで見るとより大きな変化があるのか。</p>
会長	<p>生涯学習関連事業評価自体が、ここ数年で導入されたものであり、そこまで長期の比較はできない。</p>
委員	<p>実施地域の問題に成るが、全地域で実施する事業が減った。全地域が23%、本庁地域が41%、元八王子地域は5%、浅川地域が8%、北野地域が2%、由木地域が19%、その他が2%となっている。 全地域が前年と比較して少なくなり、他の地域に配分されたものと見受けられるが、保健福祉センターがないこともあってか北野地域が際立って低い。</p>
事務局	<p>実施地域というのは、実施した場所が基準になるので、例えば、クリエイトホールなどで全市民対象の講座等を行えば、参加者の居住地に関わらず、本庁地域という区分になってしまう。どうしても施設のある地域の比率が高くなる。</p>

委員	<p>私はその地域ごとによる偏りが問題であると感じている。地域の公平性という観点からも区分の見直しなどをしてもよいのではないか。</p>
中央図書館長	<p>数字だけで見ると、その地域に施設がないから事業の実施も不十分と捉えられるかもしれないが、決してそのようなことは無い。例えば、ブックスタート事業などで、自宅から遠い保健福祉センターに検診に行くことの負担はあると思うが、0歳児検診ないし3歳児検診に全員が来ている以上は、全地域の市民にサービスが提供できているということである。</p>
会長	<p>それでは、本日頂いた意見を踏まえ、次回の会議までに事務局で整理をしてもらいたい。続いて、報告事項について事務局より説明をお願いします。</p>
川口図書館長	<p>《報告事項》</p> <p>(1) 感想文・感想画コンクール上位入賞者の台湾派遣報告について</p> <p>(7) 第6回読書感想文・第13回読書感想画コンクールの開催について</p> <p>教育委員会と八王子西ロータリークラブとの共催で実施したが、コンクールにおける中学生の上位入賞者を海外友好都市である台湾高雄市に派遣した。</p> <p>日 程 平成29年3月26日～3月28日</p> <p>団 員 中学生10名、事務局3名、ロータリークラブ12名、計25名</p> <p>交流内容 現地施設見学、中学校の訪問（授業交流）、高雄市長訪問など</p>
中央図書館長	<p>(2) 地区図書室の市民図書館移行準備担当の設置について</p> <p>1月の会議においても申し上げたが、平成30年度以降に市内13ヶ所の市民センターに併設されている地区図書室を随時、図書館ネットワークに統合するとともに市民の皆様と共同運営しているということが分かるように名称を市民図書室と変更することを報告させていただく。</p> <p>平成29年度は平成30～32年度の実施計画となるアクションプランの策定を行い、関係機関との調整を行う。また体制強化として、中央図書館内に市民図書館移行準備担当を設置した。</p>
南大沢図書館長	<p>(3) 「としょかんこどもまつり」実施について</p> <p>4月23日は子ども読書の日であり、子どもの読書活動の推進に関する法律第10条に定められており、子どもの読書週間の定着と読書活動を推進することを目的として平成20年度から順次「としょかんこどもまつり」を実施してきた。</p> <p>実 施 日 4月22日～4月23日</p> <p>実施内容 子ども・親子向けにお話会、童歌、バルーンアート作りなど</p>

川口図書館長	<p>(4) 市制 100 周年事業川口図書館「100 がつく本」100 冊展示について</p> <p>「100 がつく本」を 100 冊展示し、市制 100 周年の P R に努めた。川口図書館では 99 冊を用意し、もう 1 冊は 100 周年記念事業実行委員会で用意したイベントガイドブックを配布した。</p>
中央図書館長	<p>(5) 包括連携協定の締結に基づく中央大学と図書館との共同研究について</p> <p>中央大学と図書館部との共同研究については、1 月の会議においても申し上げたが、7 月 1 日付で締結がなされることから改めて報告するものである。図書館部においては中央大学文学部と読書のまち八王子推進のための図書館利用者データの調査・研究・分析等の面で協力を得られることとなった。</p>
中央図書館長	<p>(6) 市制 100 周年記念事業 姉妹都市図書館交流展示について</p> <p>本市は昭和 48 年に苫小牧市、昭和 49 年に日光市と姉妹都市の協定を結んでいるが、昨年 10 月には、市制 100 周年記念事業の一環として、小田原市・寄居町と姉妹都市協定を締結した。互いの市の魅力を市民に知ってもらうきっかけとして、4 つのブースを設け、姉妹都市図書館交流展示を行った。</p> <p>開催期間：平成 29 年 7 月 21 日（金）から 8 月 12 日（土）  テ ー マ： 苫小牧市と日光市「千人同心」  小田原市と寄居町「北条氏と城」</p>
事 務 局	<p>(8) 都市社連協関連について</p> <p>平成 28 年度の 1 年間、都市社連協の会長市として 12 月の交流大会・4 月の定期総会をはじめ、委員の皆様には、多大なご協力をいただいた。平成 28 年度 1 年間 都市社連協の会長市として、12 月の交流大会・4 月の定期総会をはじめ、委員の皆様には、多大なご協力をいただいた。4 月 22 日に東京工科大学で開催した定期総会をもって、会長市を立川市へ引き継ぎを行い、本市の会長市としての役割を無事に終えることができた。感謝申し上げます。</p> <p>定期総会当日は、各市の委員 114 名と 58 名の事務局がお越しになり、昨年度の事業報告並びに平成 29 年度の事業計画について審議され、議事についてはすべて承認された。</p> <p>平成 29 年度の行事としては、11 月 18 日に日野市において八王子市が所属する第 3 ブロックの研修会が、12 月 2 日に立川市にて交流大会が開催される予定である。また、全国社会教育委員連合の行事として、関東甲信越静岡社会教育研究大会 静岡大会が 11 月 16 日・17 日の二日間開催される。詳細については、いずれも、各事務局から通知が届き次第お知らせする。</p>

会 長	<p>次回の会議日程は調整の上、別途事務局より連絡をする。本日の会議は以上をもって終了する。</p> <p>5. 閉 会</p> <p>上会議録は事実と相違するところがないことを認め、下に署名する。</p> <p>八王子市生涯学習審議会会長</p> <p>八王子市生涯学習審議会委員</p>
--------	---